

気仙地方のタケノコ生産に向けた協業体組織の設立

1 はじめに

気仙地方は、孟宗竹、真竹等の竹林資源が豊富である。その多くは放置状態となっており、農地や森林を侵食している状況もみられる。

発生するタケノコは、産直等で生タケノコを販売しているが、主に自家用消費が中心で加工商品はほとんど販売されていない。

このことから、良質なタケノコ生産及び竹林整備を促進するため、横田地区にタケノコ生産者の協業体組織を立上げたので紹介します。

2 活動内容

平成21年度から地域経営推進費事業を導入し、竹林モデル林整備、水煮加工研修、料理講習会、先進地視察研修等の活動を行ってきた。

また、今年度は、販路の拡大を図るため、管外の産直への試行販売のほか、タケノコ生産者の自立生産に向けた協業体組織の設立を支援した。

3 生産組合の設立

陸前高田市横田地区にタケノコ生産者で組織する協業体の立上げを行うため、昨年

の7月から各生産者の竹林経営面積等の事前調査を始め、協業体の設立に向けた打合せ等を行ない、昨年11月11日に、設立総会を開催し、構成員17名により「横田たけのこ生産組合」が発足した。



生産組合設立総会の様子

4 生産組合の今年度の活動状況

良質なタケノコ生産の拡大を図るため、地域経営推進費事業を活用して竹林整備0.6haと竹林展示林0.2haの施肥作業を実施している。

5 今後の対応

今後は、竹林整備の拡大を図ると共に、水煮加工及び県内の産直販売等への販路拡大を目指し、気仙地方の特産物としての定着を図っていく。